

科目名	予防指導 3							年度	2026		
英語科目名	Preventive guidance 3							学期	前期		
学科・学年	柔道整復科 3年次			必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	加藤健太、後藤晃弘、有山敦士、秋田雄大、宮本功三、青木伊之、杉本知			教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

環境や行動を社会的に整え国民の健康を守る社会防衛機能としての保健医療活動を学ぶことも柔道整復師の責務の一つであるため、この科目を通して公衆衛生分野の知識を習得することを目的とします。

【科目の概要】

生活環境について学び、保健衛生行政機関の仕組みを理解します。

【到達目標】

予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを重視しながら進める。環境を整え、傷病を予防し、健康の保持増進をはかるという知識を習得することが到達目標である。

【授業の注意点】

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	環境保健について完全に理解している。	環境保健について大体理解している。	環境保健について部分的には理解している。	環境保健について理解がやや不足している。	環境保健について理解していない。
到達目標 B	生活環境保健のうち水道の衛生について完全に理解している。	生活環境保健のうち水道の衛生について大体理解している。	生活環境保健のうち水道の衛生について部分的には理解している。	生活環境保健のうち水道の衛生について理解がやや不足している。	生活環境保健のうち水道の衛生について理解していない。
到達目標 C	生活環境保健のうち食品衛生について完全に理解している。	生活環境保健のうち食品衛生について大体理解している。	生活環境保健のうち食品衛生について部分的には理解している。	生活環境保健のうち食品衛生について理解がやや不足している。	生活環境保健のうち食品衛生について理解していない。
到達目標 D	母子保健について完全に理解している。	母子保健について大体理解している。	母子保健について部分的には理解している。	母子保健について理解がやや不足している。	母子保健について理解していない。
到達目標 E	学校保健について完全に理解している。	学校保健について大体理解している。	学校保健について部分的には理解している。	学校保健について理解がやや不足している。	学校保健について理解していない。

【教科書】

使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		予防指導 3			年度	2026
英語表記		Preventive guidance 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	環境保健①	環境の把握と環境の評価と物理的環境要因①について。	1 温熱の4要素	気温、湿度、気流、輻射熱について理解する。	3	
			2 暑熱や寒冷の影響	熱中症、低体温症について理解する。		
			3 気候と疾病	気象病と気候病について理解する。		
2	環境保健②	物理的環境要因②と化学的環境要因について。	1 騒音と電離放射線	騒音レベル、騒音性難聴、放射線障害について理解する。	3	
			2 毒性試験	NOELとLOELについて理解する。		
			3 喫煙と健康	慢性閉塞性肺疾患、三次喫煙について理解する。		
3	環境保健③	公害について。	1 環境基本法	典型7公害について理解する。	3	
			2 4大公害訴訟	水俣病、四日市喘息、イタイイタイ病について理解する。		
			3 国内外の公害	カネミ油症、サリドマイド、ロンドンスモッグについて理解する。		
4	環境保健④	わが国の環境問題について。	1 大気汚染	光化学オキシダント、PM2.5について理解する。	3	
			2 空気の正常成分	窒素、酸素、二酸化炭素、アルゴンについて理解する。		
			3 最近の環境問題	環境ホルモン、アスベストについて理解する。		
5	生活環境保健①	上水について。	1 上水道普及率	全国、都道府県別について理解する。	3	
			2 浄水法	沈殿、ろ過、消毒について理解する。		
			3 飲料水の判定基準	水道水に検出されてはいけないものを理解する。		
6	生活環境保健②	下水について。	1 下水処理法	好気性微生物による活性汚泥法について理解する。	3	
			2 下水処理に伴う検査	pH、DO、BOD、COD、SSについて理解する。		
			3 下水道普及率	全国、都道府県別について理解する。		
7	生活環境保健③	衣服と住居について。	1 衣服と疾病	圧迫、病原体について理解する。	3	
			2 採光	入射角、開角、昼光率、均斉度について理解する。		
			3 換気	室内の気積、必要換気量について理解する。		
8	振り返り	第1回～第7回の講義の振り返り。	1 環境の評価	温熱の4要素について理解する。	3	
			2 公害	4大公害訴訟について理解する。		
			3 上・下水道	普及率、水の消毒について理解する。		
9	生活環境保健④	食品衛生①について。	1 食品衛生法	食中毒の定義について理解する。	3	
			2 感染型細菌性食中毒	腸炎ビブリオ、サルモネラ、カンピロバクター、0-157、コレラについて理解する。		
			3 毒素型細菌性食中毒	黄色ブドウ球菌、ウエルシュ、ボツリヌス、セレウスについて理解する。		
10	生活環境保健⑤	食品衛生②について。	1 ウイルス性食中毒	ノロウイルスについて理解する。	3	
			2 寄生虫性食中毒	アニサキスについて理解する。		
			3 自然毒	ブグ毒、キノコ毒について理解する。		
11	生活環境保健⑥母子保健①	廃棄物処理と母子保健の目的について。	1 廃棄物の分類と処理	産業廃棄物、感染性廃棄物について理解する。	3	
			2 母子保健の用語	乳児、妊産婦、出産、死産について理解する。		
			3 胎児への有害因子	垂直感染、有害化学物質について理解する。		
12	母子保健②	母子保健の指標について。	1 乳児死亡	乳児死亡の原因について理解する。	3	
			2 周産期死亡	後期死産、早期新生児死亡について理解する。		
			3 妊産婦死亡	分類と原因について理解する。		
13	母子保健③学校保健①	母子保健行政と学校保健の定義・学校保健組織について。	1 母子保健法	妊娠の届出、母子健康手帳、低出生体重児について理解する。	3	
			2 学校保健関係職員	常勤職員と学校三師について理解する。		
			3 学校健康診断	就学時、定期、臨時、職員各健康診断について理解する。		
14	振り返り	前期第1回～13回の講義の振り返り。	1 環境保健	4大公害訴訟について理解する。	3	
			2 生活環境保健	水道、住居、食品、廃棄物について理解する。		
			3 母子保健	母子保健の指標について理解する。		
15	学校保健②	感染症予防と健康状況の統計について。	1 出席停止、学級閉鎖	学校感染症第1種～第3種について理解する。	3	
			2 学校管理下での事故	発生件数と死亡件数について理解する。		
			3 学齢期の好発疾病	被患率について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等